

令和5年度研究助成金受領者など決定

矢崎科学技術振興記念財団

学術賞受賞者は3人選定

矢崎科学技術振興記念財団（佐藤慎一理事長）は、令和5年度の研究助成金受領者15人と矢崎学術賞受賞者3人を決定し、2月29日に東京プリンスホテル

（東京都港区）で贈呈式を開催した。同財団は、1983年から科学技術の発展を目的に研究助成を行っており、5年度も独自の科学技術の発展



贈呈式の記念写真

に大きな貢献が期待される研究を対象に選考を行った。研究助成は、「材料・デバイス」「環境

・バイオサイエンス」「エネルギー・情報通信」の3分野を対象とし、一般・奨励・特定の3種の研究助成を行っている。国際交流支援は、国際学会の研究発表や共同研究に関する渡航費を援助。矢崎学術賞は、過去助成を受けた研究の中から優れた業績をあげた研究者に贈られる。受領者・受賞者は次のとおり。

【一般研究助成（200万円）（応募60件）】遠藤求奈良（先端科学技術大学院大学先端科学技術研究科教授）「植物の光周性原理の解明とデンプン質バイオマス生産への応用」など5件

【奨励研究助成（100万円）（原則35歳以下の研究者が対象）（応募36件）】孫鶴鳴（横浜国立大学大学院工学研究院准教授）「アルゴリズムとアーキテクチャの協調最適化による学習型画像圧縮システム」など10件

【特定研究助成（1000万円）（同財団が特定したテーマにふさわしい研究が対象）（応募15件）（該当なし）】国際交流援助（応募12件）10件

【矢崎学術賞】（応募7件）（功績賞）長汐晃輔（東京大学工学系研究科教授）（奨励賞）（若手研究者を対象）鈴木大地（産業技術総合研究所センシングシステム研究センター主任研究員）（星本陽一（大阪大学大学院工学研究科准教授